



事務連絡
令和8年7月10日

各都道府県知事 殿

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課
(公印省略)

全国がん登録の届出項目の追加（被保険者番号等の収集）について（再周知）

がん登録制度の運営につきましては、平素より格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和9年1月1日より全国がん登録の届出項目に被保険者番号等を追加することについては、別添1のとおりお示ししているところですが、今般、がん登録支援ソフト「Hos-CanR」※¹の改修及びそのリリースを行いましたので、別添2（国立研究開発法人国立がん研究センター作成）をご参照いただき、病院等における届出の実務にあたりご活用いただくよう、貴管内関係者へ周知いただきますよう、よろしくお願いします。

なお、都道府県への届出にあたっては、「GTOL（がん登録オンラインシステム）」※²又は「GTS（がん登録共通届出システム）」※³を使用されていない病院等もあるかと存じますが、今般、別添3（国立研究開発法人国立がん研究センター作成）のとおり機能改修を行っておりますので、安全かつ簡便なGTOL（Webフォーム方式）又はGTSをご活用いただくよう、併せて貴管内関係者へ周知いただきますよう、よろしくお願いします。

※1：Hos-CanR（ホスキャナ）は、医療機関におけるがん登録業務の正確性・効率性を向上させるために開発された専用ソフトウェアであり、ローカル環境で動作する通信を伴わないアプリケーション（届出支援システム）。届出票の提出に必要なCSVファイルの出力も可能。SQL server 上で稼働しシステムを安定化。導入時に Microsoft(R) SQL Server(R) 2022 Express（無償版）が自動的にインストールされ特別なサーバー機の導入は不要。日々の登録データのバックアップも可能。

※2：GTOL（がん登録オンラインシステム：Gan-Touroku OnLine system）は、各医療機関のコンピュータと全国がん登録のサーバを VPN 回線でつなぎ、全国がん登録の届出をネットワーク上で安全に行うことができる仕組み。厚生労働省の委託を受けて国立がん研究センターが2016年度に開発、2017年4月より利用、2023年5月にリニューアル。GTSでの届出を行う病院においても、遡り調査等を行う際にはGTOLを利用している。

※3：GTS（がん登録共通届出システム）は、院内がん登録実施施設が院内がん登録症例集計ヘデータを提出する際に、同時に全国がん登録の届出をオンラインで行う場合のみ用いる。